

小千谷市と JR 東日本（東日本旅客鉄道株式会社）との共生策の取り組み（2024(令和 6) 年）

□上越線・飯山線活性化

○臨時列車

- ・「越乃 Shu＊Kura」、「ゆざわ Shu＊Kura」 金土日を中心に運転 4/5～12/1、計 83 往復
- ・「TRAIN SUITE 四季島」 3 泊 4 日コース：13 回、1 泊 2 日コース 14 回
- ・「新潟駅開業 120 周年号」 5/11, 12 越後湯沢駅・新潟駅間を運転
- ・上越新幹線開業 40 周年記念「200 系カラー新幹線」復活運転 3/15 まで運転
運転終了に伴う記念旅行商品 3/2 運転

□地域振興策への支援（交流人口拡大・地域経済活性化・地産品 PR）

○市民の家・小千谷信濃川水力発電館（おちゃ〜る）

- ・デジタルサイネージを設置し、継続して情報発信（2019/7〜）
※河川環境と水利使用との調和に関する取り組みの映像とともに小千谷市観光協会、片貝まつり奉納大煙火の映像をあわせて放映
- ・社内研修をはじめ、各種視察等にて水力発電館を有効活用
- ・おちゃ〜る見学ツアー開催において、子供参加者への記念品を提供（6/8）
- ・「キーワードラリー de こども縁日」開催において、記念品を提供（11/23）

○各種イベント等への協力

- ・小千谷高校での探求学習「小千谷学」の対応（2 年生）
環境・エネルギー分野を選択した 1 チームに対して、講義（6/18）、施設見学（9/3）、中間報告会（10/15）の対応を実施。
- ・小千谷西高校企業説明会への参加（6/12）
20 分×3 セット方式での企業説明。参加企業は市内企業 5 社＋信濃川発電所。信濃川発電所 1 名および人事担当 2 名が参加して対応。
- ・「夏の 3 DAYS しごと体験」への対応（8/20～22）
U ターン就職を検討している 2025 年 3 月以降卒業予定の大学生等が対象の仕事体験イベント。2 日目と 3 日目に、各 1 名ずつを受け入れ、信濃川発電所でしごと体験および施設見学を実施。
- ・小千谷市「ふるさと夢づくり」事業への協力（8/29、30）
小千谷市内の中学 2 年生の職場体験活動。小千谷中学校から 2 年生 2 名を受け入れ、施設見学および業務説明・業務体験を実施。
- ・長岡高専生地域企業見学会 2024 への協力（9/27）
長岡高専電気電子システム工学科 3 年生のうち、B グループを選択した学生 22 名を受け入れ。信濃川発電所の概要説明後、施設を見学。
- ・おちやしごと未来塾への出展（12/5）
小千谷市内の 5 中学校 1 年生、市内 2 高校 1・2 年生に対して、業務説明や会社 PR を実施。

- ・発電所施設見学依頼の対応
 - 6/6 東小千谷小学校 5 年生 31 名
 - 7/28 にいがたこども会議 小中学生 約 15 名
 - 8/2 小千谷市新任教員研修 約 20 名
 - 9/5 和泉小学校 4・5 年生 16 名
 - 11/8 小千谷西高校 1 年生 24 名
 - 11/26 千田小学校 4 年生 27 名
- ・「第 48 回おぢや風船一揆」への協賛（2/24、25）
- ・「絵紙と小千谷のひいな祭り」への協力（2/24～3/3）
 - 顔出しパネルの小千谷駅改札口付近の設置に協力
 - リーフレット置き場の提供
- ・第 37 回信濃川河岸段丘ウォークにて、ゼッケン製作への協賛（4/29）
- ・「おぢやつつみ WITH WISH.」への協賛（5 月）
- ・おぢやまつり（8/23～25）
 - 「大花火大会」への協賛
 - 東広場会場にて地元町内会に信濃川発電所社員が加わり、子供ゲーム広場でのイベントを担当
- ・ブルーインパルス展示飛行に伴う列車輸送での協力（8/31）
 - 展示飛行の前後で上下各 1 本の臨時列車の運転および、その前後数本の列車では増結を実施
 - 小千谷駅での増員体制を構築
 - 小千谷市作成のポスターを長岡駅などに掲出
- ・「片貝まつり 浅原神社秋季例大祭奉納大煙火」への協賛（9/13、14）
- ・「オヂヤホテル」への協賛（9/23～11/9）

○地産品等の販売促進

- ・新幹線車内誌 トランヴェール（2024 年 8 月号）にて、上杉謙信を切り口にして小千谷縮を PR

○錦鯉 PR

- ・「東京駅前常盤橋プロジェクト」で三菱地所と小千谷市が協働で錦鯉の鑑賞池を設置
 - 協賛：錦鯉鑑賞池の維持・錦鯉に関する情報発信に対する支援・賛同を目的に 5 年間（2021 年から）

○地元就職応援メディア「ぽっぷわーく」

- ・小千谷駅ワークスペースの什器へのステッカー掲出に協力（1 月）
- ・ポスター掲出への協力
 - 浦佐駅（2-3 月）、小出駅（3-4 月）、長岡駅（4-5 月）、宮内駅（6-7 月）、来迎寺駅（8-9 月）、に掲出
- ・小千谷駅跨線橋内のポスター掲示板を使用した全面広告への協力（7-10 月）

○その他

- ・小千谷市公共交通マップ（2024 年 4 月 1 日版）発行に合わせて、広告を掲載

□地域対応・各種団体要望等

- 小千谷市土地改良用水信濃川取水連絡協議会との意見交換会の開催
- 小千谷西南土地改良区との意見交換会の開催
- 山本町内会との意見交換会の開催
- 山本町大運動会への参加、「千本桜の会」活動への参加

○小千谷ロータリークラブの活動に協力

○横坑上部の陥没事案の対応（真人沢地区）

- ・真人沢地区住宅の庭先で陥没が発生（3/25：水路トンネル建設時の横坑が埋設されている付近）。地権者、真人町里地振興協議会長、市議の立会いの下で復旧作業を実施。陥没地点にある樹木を元の位置に植え替え、埋め戻しまで行い対応完了。

○雑草等の対応

- ・小千谷駅に隣接する会社より、鉄道用地内で繁茂する雑草についてのご意見をいただき、除草を実施。また、同社の樹木の枝が鉄道用地へ張り出しているために対処方法についてのご相談をいただき、打合せの上で剪定作業を実施いただいた。

□その他

○11 回目のサケ稚魚放流活動を実施（主催：魚沼漁協、JR 東日本 後援：小千谷市）（2/28）

- ・南小学校（2、4 年生）に加え、今年は東小千谷小学校（4 年生）を迎え、両校あわせて 60 名の児童に参加いただいた（全体で約 120 名）。

○小千谷発電所一般公開（第 37 回信濃川河岸段丘ウォークと同時開催）（4/29）

- ・朝から晴天に恵まれ、暑いぐらいの陽気の中、飲食ブースには地元の店舗や漁協等に、ステージイベントでは地元出身アーティスト等に出店・出演いただき、コロナ禍前と同様の盛り上がりとなった。

○小千谷市内の小学校への出前授業の開催

（南小学校）

7/12 4 年生 18 名に対して開催。4 限目座学（信濃川発電所の紹介、電気のできる仕組みなど説明）、昼食・移動を挟み 5・6 限目施設見学を実施。最後に放水路末端付近から信濃川の流況を確認し、川井地区での信濃川の流況と比較していた。

9/6 2 回目開催。前回時間が足りずに見学できなかったおちゃ〜るを見学。

（東小千谷小学校）

10/3 4 年生 36 名に対して開催。南小同様に座学と施設見学を実施。たくさん質問する子、ひたすらメモを取る子など様々だったが、それぞれが興味をもって行動していた。

○小千谷駅トイレのスリム化後の対応

- ・小千谷駅駅舎入口、Suica 改札機脇、旧トイレ入口に、リニューアルしたトイレご案内ポスターを掲出（2024/1/30～）

○油流出事故（2023/11/8）を受けた情報伝達訓練の実施（7/9）

- ・下流水利権者を含む 30 箇所にご協力いただき、合同情報伝達訓練を実施。連絡用フォーマットを使用した FAX 送信・電話連絡訓練、河川監視訓練、油検出訓練などを実施。

○信濃川が電気のふるさとであることを PR するポスターのリニューアル

- ・首都圏の駅、新潟支社管内の駅において、4 月から 12 月にかけて掲出。これに合わせて、同デザインのクリアケースも製作、ポスターと合わせて様々なイベント等で活用中。